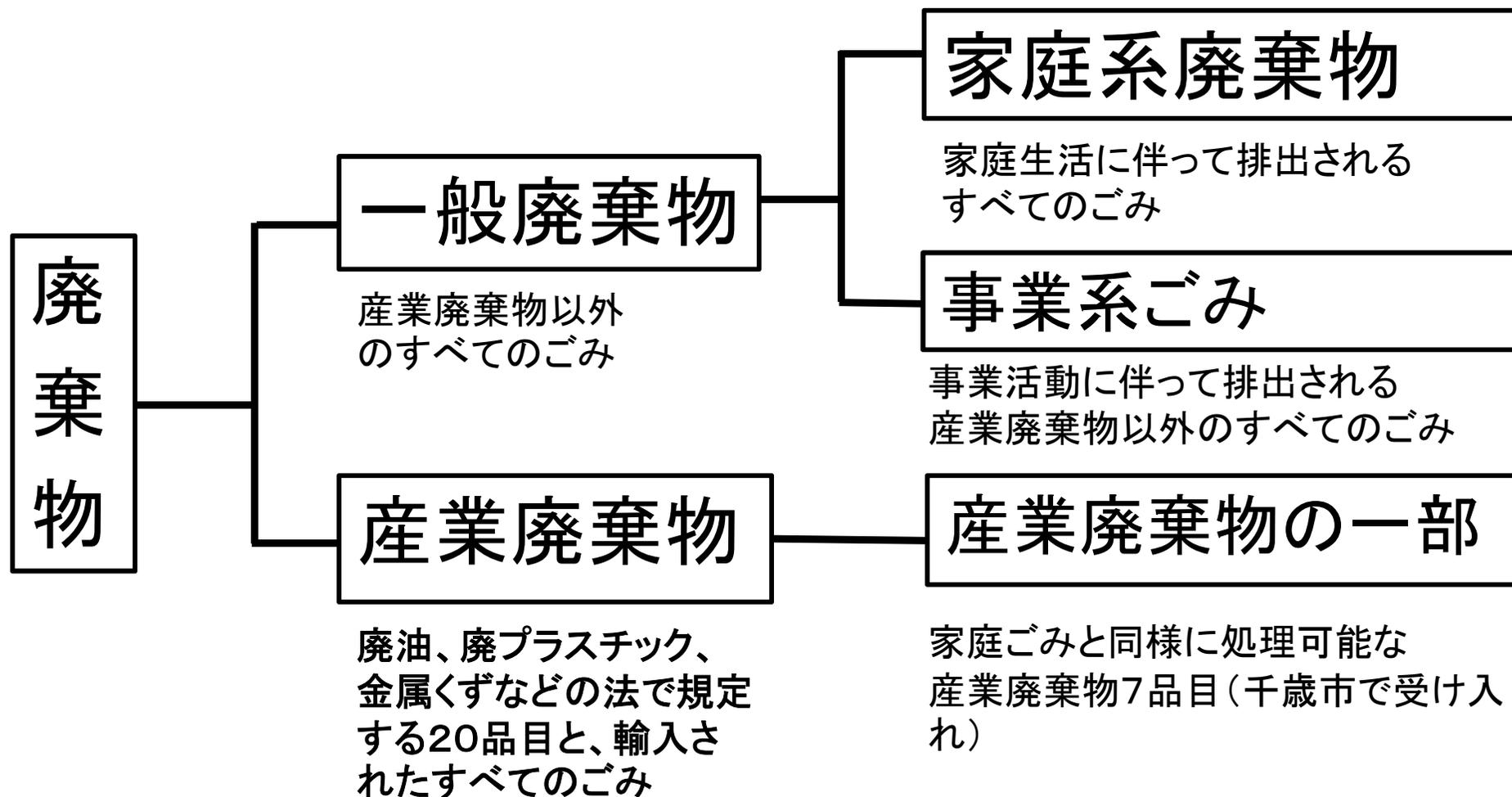


廃棄物処理手数料の概要 【家庭系廃棄物】

令和7年5月22日

1 ごみの分類



2 これまでの経緯(家庭系廃棄物)

平成18年度の家庭ごみ有料化の制定以降、ごみ処理経費・ごみ搬入量など社会情勢によって変動することから、「千歳市一般廃棄物処理基本計画」の中間目標年次に合わせて、5年に一度、手数料改定の検証(処理費用の推移や処理原価との比較)をすることとしています。

年度	手数料	燃やせるごみ	燃やせないごみ	プラ容器包装
平成18年度	制定	2円/ℓ	2円/ℓ	未制定
平成23年度	一部導入	2円/ℓ	2円/ℓ	1円/ℓ
(平成27年度)	(検証)	改定見送	改定見送	改定見送
平成28年度	据え置き	2円/ℓ	2円/ℓ	1円/ℓ
(令和2年度)	(検証)	改定見送	改定見送	改定見送
令和3年度	据え置き	2円/ℓ	2円/ℓ	1円/ℓ
(令和7年度)	検証			

※令和7年度においては、直近5年間(令和元年度～令和5年度)の処理費用・廃棄物搬入量の推移や処理原価等を算出し、検証することとしています。

3 家庭ごみ有料化の基本的な考え

① 国の方針

廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針(平成17年5月26日, 環境省告示第43号)

経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである。(抜粋)

② 北海道の方針

北海道循環型社会形成推進計画(策定:平成22年4月)

市町村は...(中略)...一般廃棄物の処理責任主体として、ごみ処理の有料化、ごみの分別収集や廃棄物処理施設の整備など一般廃棄物に関する3R及び適正処理を推進するとともに、事業者・消費者として、グリーン購入、環境マネジメントシステムの導入など自らが率先して3Rの取組を進めることが期待されます。(抜粋)

4 処理手数料の基本的な考え方

【環境省 一般廃棄物有料化の手引き 平成25年4月】

○手数料の検討にあたっては、以下の事項について考慮する必要がある。

<家庭系一般廃棄物>

①ごみの減量化・資源化(リサイクル)の推進

②市民の受容性の考慮

③周辺市町村における手数料の料金水準の考慮

④ごみ処理経費に対する負担割合(※審議会)

4 ①ごみ減量化・資源化への効果

家庭ごみ処理手数料の有料化の主な目的として、ごみの排出抑制及び分別促進による資源化を図るものであり、ごみの削減目標の達成につながる排出抑制効果が期待できる手数料の設定が必要です。

手数料の設定の水準が高くなるほど排出抑制効果は高まりますが、手数料(改定)を検討する際には、市民の受容性など様々な事項を考慮する必要があります。

4 ②市民の受容性の考慮

家庭ごみ処理手数料の改定は、市民に新たな金銭的負担を求めるものであり、市民参加と検討プロセスの透明性の確保が重要です。

そのためには、検討段階の早い時期から、市民説明会の開催、広報、市ホームページ等を活用した情報提供等により、改定の背景や目的を十分に説明し、**市民への周知徹底を図るとともに、意見を聴く機会を十分に設定する必要があります。**

また、広報媒体による周知徹底と併せ、手数料改定の目的や仕組み等について町内会単位の説明会を開催するなど、きめ細やかな説明を行うことが必要です。

4 ③近隣市町村の手数料の料金水準

	千歳市	札幌市	江別市	北広島市	恵庭市	石狩市	苫小牧市
収集方式	ステーション	ステーション	ステーション	ステーション	戸別	戸別	ステーション
可燃(円/ℓ)	2	2	3	3	3	2	2
不燃(円/ℓ)	2	2	3	3	4	2	(区分無)
生ごみ(円/ℓ)	分別無	分別無	分別無	2	2	分別無	分別無
資源物(円/ℓ)	1(※プラ) 無料(4種資源)	無料	無料	無料	無料	無料	無料
粗大ごみ(円/個)	300 (共通)	200~1800 (品目別)	250/500/1000 (品目別)	120~1200 (品目別)	100~900 (品目別)	200~1300 (品目別)	300/600 (品目別)
直接可燃(円/10kg)	60	130/200	150	150	受入不可	120	140
直接不燃(円/10kg)	60	200	150	150	250	120	140

※【令和7年4月1日時点】

4 ④処理経費に対する負担割合(家庭系廃棄物)

$$\text{ごみ処理原価} = \frac{\text{※ごみ処理経費(円)}}{\text{ごみ処理量(kg)}} \\ (\text{円/kg})$$

【※ごみ処理経費(収集運搬、焼却や破碎による中間処理、埋立処分場における最終処分に要する経費等)】

$$\text{処理原価(円/kg)} \times \text{ごみ密度(kg/l)} \\ \times 1/3 \text{【負担割合】} = \text{処理手数料(円/l)}$$

※平成17年千歳市廃棄物減量等推進審議会での答申において、家庭への過度な負担とならないことを考慮し、処理原価に「ごみ密度(kg/l)」を乗じた値の3分の1程度の額が適当としている。

5 千歳市廃棄物減量等推進審議会 スケジュール(案)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
廃棄物減量等	第1回		第2回	第3回		
推進審議会	5月22日		(諮問・審議)	(答申)		
改定案作成等		改定案作成				周知・広報
議会/ 常任委員会					第3回定例会 (答申報告)	